# 戦　評　用　紙

平成２７年度　県民総合体育大会兼埼玉県高等学校
バスケットボール新人大会

平成２８年１月１７日

会　　場　上尾運動公園体育館

Ａコート第　２　試合

| 対　戦 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 昌　平　高校 | １９ | — | ２１ | 西武文理　高校 |
| ６０ | ２１ | — | ２１ | ７５ |
| | １２ | — | ２１ | |
| | ８ | — | １２ | |

第１Ｐ　両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスから始まる。先制したのは文理で、＃６＃４の連続３ｐと昨日のゲームと同様に外のシュートで組み立てる。昌平は＃１０のジャンプシュート、＃６の速攻ドライブとシュートに対するフリースローで得点する。文理が＃６のリバウンドシュートや＃５のドライブでリードを広げるが、＃７が負傷退場してしまう。昌平は＃４が外から射抜き、速攻から＃７がダンクシュートを決め、点差は開かない。文理は＃６が３ｐのバスケットカウントを決めるなど１Ｐだけで１５点をたたき出し、２１－１９文理リードで終了。

第２Ｐ　文理が＃９の３ｐ、＃４＃８が続けて速攻に走りリードを広げるが、昌平は＃４がドライブ、３ｐなど高確率で連続シュートを決め、追いつく。流れが悪くなったところで残り４分文理がタイムアウト。昌平は＃４の高確率シュートが続き、＃８の３ｐで逆転に成功する。文理は＃９がファウルアウトしたが治療を終えた＃７がコートに戻る。文理は＃６が３本目の３ｐを決め、４２－４０点差そのまま文理リードで前半終了。

第３Ｐ　文理は前半終わりに復活したシューター＃７が３ｐを決め、＃４のドライブ、３ｐで一気に１０点差とする。昌平は＃６のドライブ、＃１０のジャンプシュートなどで食らいつくが、文理は＃５のリバウンドシュート、＃７の３ｐで再び１０点差へ。残り３分を切ったところで昌平がタイムアウト。ここで文理は３－２ゾーンに変えるが、昌平＃８が２本連続３ｐを決める。文理がラストにサイドスローからのセットオフェンスでタップシュートを決め、６３－５２文理リードで終了。

第４Ｐ　文理は＃７がこのゲーム３本目の３ｐを決め点差を広げ、＃４がボールをキープしゲームコントロールする。点差縮まらずに残り１分４０秒で昌平２回目のタイムアウト。文理は＃４中心にストーリングして時間を稼ぎ、お互いオールコートでディフェンスのプレッシャーをかけるが、文理＃８がスティールからの速攻を決め、とどめを刺す。７５－６０で西武文理が逃げ切り、勝利した。

（記録者：　草加西高校 伊澤　暁　）